



# Weekly Report



2017-18年度ガバナー  
神野 重行



ロータリー:  
変化をもたらす

2017-18年度R.I.テーマ  
R.I.会長 伊ノH.S.ライアリ

**例会日** 第一・第三木曜 12:20-13:30  
**事務局** 〒460-0008 名古屋市中区栄1-22-16 ミナミ栄ビル402  
TEL 052-253-7821 / FAX 052-253-7820  
**例会場** ウェスティンナゴヤキャッスルホテル TEL 052-521-2121  
〒451-8551 名古屋市中区西区樋の口町3番19号

## 第13回例会

2017年7月6日(木)

司会進行 野村 治  
「君が代」斉唱 「奉仕の理想」唱和

会長挨拶

酒井俊皓会長



新年度の第1回例会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

私の座右の銘は「志」です。もともと、人によっては、酒井にとって一番ふさわしくない言葉だと笑われるかもしれませんが、私の気持ちとしては、もともと好きな言葉です。国語辞典によりますと「心の向うところ」、「内から(自ら)発露される強い気持ち」と訳されています。

今日は、幕末の思想家吉田松陰の教えの中から、年初に準えるものを選んでお話ししたいと思います。事の始まりについて「なんでも、「最初の決心」というものが一番重要です。これが、どこまでもついてまわるからです。」「ことを始めるのに、大切なことは、シンプルに、心の底から、「この道をきわめたい」と叫ぶことができるかどうか。それだけなんです。」また「新しいことを学びましょう。目標に向かう行動を増やしましょう。それもひとつずつできるというなら、ふたつ、みつづけるというなら、百、千つて、自分の持つありったけの力を使い切りましょう。限界を何度も超えて、完全にやり尽くしたという瞬間に「自分の本分」というものが、かすかに見えることがあるんです。」とも教えています。そして「いくら頭で考えても、なにも起こりません。大きなことを成し遂げるには、自分と同じ志を持った人に会って、自分の思いを伝えることです。新しい歴史はいつもそこから動き出します。」とも言っています。「覚悟の磨き方」超訳吉田松陰、編訳池田貴将

こんな思いでいますので、一年間宜しくお願いします。

### 出席報告

河合秀紀出席・ニコボックス委員長

	会員数	出席数	出席率
当日	42	29	69.0%
前回	43	35	81.3%

### ニコボックス

河合秀紀出席・ニコボックス委員長

新年度おめでとございます。  
素晴らしい一年になることを願っています。

- 1.酒井会長・高木幹事の船出を祝して
- 2.宮の杜ロータリークラブ2年目を祝して

服部良男

大口弘和

新年度を迎えて

新会社での最初の例会です。

酒井年度の始まりです。

今日は服部PDG、大口直前会長をお迎えて

「職業奉仕への道」第一回完了しました。  
残りの方よろしくお願ひします。

新年度スタート

服部パストガバナー、大口直前会長  
当クラブの名誉会員お二人をお招きして

酒井会長、高木幹事2年目のスタートです。  
よろしくお願ひ申し上げます。

新年度を祝して

出口茂 長谷川裕一 樋口昌男 堀場和孝  
加藤謙一 河合秀紀 牧野敬充 水野紀孝  
大野将義 佐野洋一郎 菅原浩昭 鈴木達央  
鈴木拓将 高木俊郎 山城徹也 安田保

酒井俊皓

奥村与幸

遠山堯郎

山下智己

野村治

高木勝

増田盛英

### 幹事報告

高木勝幹事

- ・7月ロータリーレート 1\$ = 111円
- ・第14回ロータリー韓日親善会議2017  
日時:9/23(土)13:00~@グランドハイアット・ソウル
- ・次回例会 7/20 12:20~@ウェスティンナゴヤキャッスルホテル  
クラブフォーラム開催。決算・予算・委員会方針について
- ・理事会の議事録について  
→開催後、翌日及び翌々日までに役員・理事へ報告します。  
その後規定の日程以内にHPに掲載し会員も閲覧可能です。  
(HP会員ページのログイン方法は以前メールにて案内済)
- ・年間行事予定表を配布しております。予定ご確認ください。

### 公共イメージ・向上委員会より 山下智己委員長

「職業奉仕への道」第一回を配布しました。  
会員44名中、残り十数名の情報が入っておりませんので、そろい次第、完成となります。あと2回ほどに分けて印刷していく予定です。ご都合上、ご対応が難しいこともあるかもしれませんが、可能な限り早急に情報のご提供をお願い申し上げます。  
尚、情報変更の際は差し替え可能ですので事務局へ新情報をお送りください。以上、宜しくお願い申し上げます。

### 会長幹事引き継ぎセレモニー

大口直前会長より酒井会長へ、  
酒井新会長より、高木幹事へバッジの伝達が行われました。

### 名誉会員より一言



新年度第一例会に出席させて頂きまして、また新クラブの名誉会員にご承認いただきまして本当にありがとうございます。このクラブの皆様と一緒に色々な活動をしていきたいと思っております。ガバナーの時はガバナーとしての役割の行動ができましたが、パストガバナーとなるといちロータリアンとしての行動ができることが大きな違いだと実感しております。皆さまの活動にできる限り参加させて頂いて色々な交流が出来ることを楽しみにしております。

服部良男名誉会員

本当に有難い経験をさせて頂き皆さんありがとうございます。半年間キーメンバーの方々と相談して色々な企画を立ててやってきましたが、1980年に入会しその間思ってきたことが成し遂げられたように思います。例えば、最初にお願いした3つ依頼が実現されました。①RCC締結しましょう。②職業奉仕への道を作成しましょう。③ウィークリーをペーパーベースで作成しましょう。です。今後とも名誉会員・クラブアドバイザーとしてバックアップさせて頂きます。最後になりますが、名東ロータリークラブ様へお送りした写真集のお礼状が貴クラブのウィークリーに掲載されており、このようにロータリーの輪が広がっていくのだと感じました為ご紹介いたします。

大口弘和名誉会員

## 新年度会長方針

酒井俊皓会長

改めまして、皆さんこんにちは！

新年度、第1回の例会でありますので、本年度の「会長方針」を述べさせていただきます。私もロータリー歴は、10数年ありますが、なにぶんにも20数年前までのことでありますので、全く新人のメンバーと変わりません。そんなことで「会長方針」と言っても、不十分なものを外しているところもあると思いますが、ロータリーの友情に免じて、ご容赦をお願いします。

私の持論は、会長は、「帽子」であると思っていて、中身は、オールメンバーで作りに行くものだと思っています。そして、本年度の最後の例会で「会長方針」の完成版ができれば、こんな喜ばしいことはないと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

2017~2018年度会長方針は、「ロータリーを理解し、ロータリーを楽しもう」としました。2017~2018年度国際ロータリー(RI)イアンH.S.ライズリー会長のテーマは「ROTARY: MAKING A DIFFERENCE」(ロータリー:変化をもたらす)であります。

また、国際ロータリー2760地区神野重行ガバナーの地区方針は「今日からのロータリーを楽しもう！」であります。ロータリーは、当初の会員同士の親睦と職業奉仕の目的から、社会活動奉仕、国際奉仕、青少年奉仕と活動範囲を広げ、多くのロータリアンの参加も得て発展してきました(世界200か国で122万の会員と言われています)。しかし、時代の急激な変化はロータリーの活動にも無縁ではありません。RI会長のテーマ「ロータリー:変化をもたらす」は、ロータリーメンバー、ロータリーだけでなく、ロータリーを取り巻く回りも含めて変化をという意味だと理解しています。「自らが変われば、周りが変わる。」「周りが変われば、社会が変わる。」と言われております。皆様も今一度、当クラブの現状と明日について考えて頂きたいと願っています。

これからのロータリー活動を考える上で、私は、次の2つがキーワードであると思っています。その1つは「SUSTAINABILITY(持続可能性)」であり、もう一つは「DIVERSITY(多様性)」です。持続可能性は、企業、社会、国家、地球とあらゆるところで人権や環境に配慮したものとして求められています。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでも重要なキーワードとなっています。多様性についても同様であります。

世界のロータリアンの大部分が60歳以上と言われております。幸い、当クラブは平均年齢が40歳代と大変若いメンバーが中心となっており、10年後、20年後も持続可能であります。我がクラブの特徴を生かして、中、長期的視点に立ったクラブ運営ができると確信しています。また、RI会長は「地球の持続可能性」について、地球環境の保全は、避けて通れない問題としてロータリーでも取り上げなければならないとして、植樹を提案されています。当クラブでも、緊急かつ重要な問題として対応していく必要があります。

多様性については、まず男女平等社会を実現する意味からも、女性会員の増強は喫緊の課題であります。また、職業分類の見直しも含め、多様な職業の会員の入会がクラブの活性化につながっていくと考えています。ロータリー活動についても、当クラブが主体性を持って、当クラブ独自の多様な奉仕活動を行っていく必要があります。「不易流行」と言います、ロータリーがこれからも持続可能であるためには、ロータリーの目的、基本理念を常に座標軸として、従来の活動を見直し、変化を恐れずに新しい展開をしていくことが必要であるとと考えています。

## 【行動指針】

### 1 ロータリーの理解

ロータリーの目的、基本理念を確認し、ロータリーの110余年の歴史を学ぶため、今年度は、2例会のうち1例会は、ロータリー理解例会として、メンバーの意識向上を図っていききたいと思います。幸いにも、当クラブには、2名の経験豊かなメンバーがおられます。お二人の経験や知識を是非若いメンバーに折に触れてご指導賜りたくお願い申し上げます。

### 2 例会等と参加

当クラブの例会は原則2回です。2回の例会では、少ないのではないかと意見もあられます。しかし、RIの規約が改正されたのは、ロータリーの持続可能性も考慮し、ホームクラブへの参加がしやすいようにとの配慮からだと思っております。それだけに例会の充実、クラブの責務だと言えます。クラブ奉仕委員会には、例会が参加しやすく内容の充実したものになるよう工夫をお願いします。他方、ロータリークラブでは、会員が積極的に参加して活動することが求められています。従って、ロータリークラブにとって重要な会議であるIDMや委員会、懇親会についても規約上出席が義務づけられていないとしても出来る限り積極的に参加されるようお願いいたします。

### 3 奉仕活動

#### ① 職業奉仕

ロータリーにおいて職業奉仕は、1丁目1番地であります。「バカの壁」の筆者養老孟司氏は「世の中の役に立たない職業はない」と言っています。職業は、それ自体社会に役立つものでありますが、それ以上に、企業の大小、職種にかかわらず、企業の社会的使命、社会参加が求められる時代となっています。我々が職業人として職業倫理に基づき誇りを持って仕事することは勿論ですが、より積極的に社会参加をし、社会的使命を果たすことが、まさに社会奉仕であります。今一度メンバーが自己の職業について考え、活動する機会を設けたいと思います。

#### ② 社会奉仕

イ 当クラブが地域に貢献するために「何ができるのか」を、調査研究し、実現を図るようにしたいと考えています。  
ロ RCCへの協力について、設立年度に締結した①OKUDA弁慶号(子供たちに夢を)、②NGUラブリッジ名古屋(スポーツを通じた交流)、③リニモ沿線合同大学祭実行委員会(地域の活性化と共生)、④わっしょい太鼓祭実行委員会(伝統芸能の継承)への継続的な交流と支援活動を行います。

### 4 会員の親睦

設立間もない当クラブでは、メンバー同士がお互いを理解し、リスペクトすることが特に重要と考えています。夜間例会、家族例会など会員同士が交流できる場を積極的に設置します。また、ゴルフなどの同好会を設置し活動します。ニーチェは「一緒に黙っていることは、素敵だ。もっと素敵なのは、一緒に笑っていることだ。二人以上で、一緒にいて、同じ体験をし、共に感動し、泣き笑いしながら同じ時間を共に生きていくのは、とても素晴らしいことだ。」と言っています。ロータリー活動を通じてメンバーの皆様がこんな関係になることを期待しています。

5 最後に戦略委員会では、「3年以内に当クラブが名古屋分区内に所属できるよう運動する。」を行動指針としました。当クラブの設立につきましては、大変難産だったことは、皆さんご承知のとおりです。服部パストガバナーのご尽力で「西三河中分区」の所属となったことも、充分認識し、感謝しております。ただ、名称も「名古屋宮の杜」となっていますし、テリトリーは「愛知県全域」とはなっていますが、会員の99.9パーセントは名古屋の在住です。当クラブのメンバーの悲願ですので、敢えて行動指針としました。

### 結論

名古屋宮の杜ロータリークラブは、2017年1月19日の創立であり、またメンバー43名中(名誉会員を除く)、38名がロータリー未経験者で、平均年齢が49歳1か月という、名実ともに若いクラブです。この1年間は、新しいクラブとして若い力を結集して、将来に向かってメンバーが誇りを持てるロータリーの礎となるよう活動していきます。そして、より多く積極的にロータリー活動に参加することが、ロータリーを理解し、会員同士の親睦を図る唯一の方法だと考えています。ロータリーを皆で楽しいものにして、新しい「名古屋宮の杜ロータリークラブ」の歴史を作っていきます。一年間、宜しくお願い申し上げます。

## 次回例会

### 第15回通常例会

卓 話： 米山記念奨学会について

卓話者： 遠山 堯郎 会員

日 時： 8月3日(木) 12:20~13:30

会 場： ウェスティンナゴヤキャッスルホテル3階「松竹の間」